

【利用要件】 下記4つの要件すべてを満たす場合に利用を認めます。

- ①定期的に換気ができること（30分に1回以上5～10分の換気）
- ②会場の広さを確保し、互いの距離を2メートル程度あけることができること
- ③近距離での会話や発声、高唱をしないこと
- ④常にマスクを着用した状態で活動できること

【利用前】

・2週間前～当日までに、以下の症状があった方のご利用はしないでください。

- | | |
|----------------|------------------|
| ・平熱を超える発熱 | ・咳、のどの痛みなどの風邪の症状 |
| ・味覚、嗅覚の異常 | ・だるさ、倦怠感、息苦しさ |
| ・体が重く感じる、疲れやすい | |

・各自、検温を行ってください。

（平熱比1度を超える場合や37.5度を超える場合は、ご利用をご遠慮ください。）

【受付から退出まで】

- ・部屋の鍵と一緒に消毒用具をお渡しします。
- ・マスクを着用してください。
- ・クラブハウス21の鍵と消毒用具をお渡しします。
- ・部屋を出入りする際には、手指消毒をしてください。
- ・近距離での会話等はお控えください。
- ・お互いの距離をできるだけ2m空けてください。
- ・30分に1回以上、5～10分程度の換気をしてください。
- ・水分補給を除く施設内での飲食は、お控えください。
- ・部屋を退出するときは、整理整頓した上で、接触した場所や物を消毒してください。
※消毒方法については、裏面をご確認ください。

【その他】 当分の間、下記のように行います。

- ・集会室1部屋あたりの最大利用人数を12人までとします。（2部屋の場合、24人まで）
- ・第1・2集会室にある長テーブルとイスの数を減らします。
（一部屋あたり長テーブル：8脚→6脚、イス24脚→12脚）
- ・第1・2集会室を分けるパーテーションを開けた状態にします。換気のために窓を開けることを除き、1部屋分の利用の場合は2部屋分のご利用はお控えください。
- ・湯沸室にある電気ポット、急須、湯飲み茶碗、やかん、お盆のご利用はできません。
- ・宴会利用はできません。
- ・午前・午後・夜間の3つの時間帯に対してそれぞれ1団体のみの利用とします。
- ・代表者は利用者全員の連絡先（氏名・住所・電話番号）の把握をお願いします。必要に応じて、保健所等の公的機関へ情報提供をお願いする場合がありますので、事前にその旨を利用者全員に周知し、活動終了後も連絡先を一定期間（最低1か月間）、適切に保管してください

※消毒方法について

写真にある清掃用具一式を鍵と一緒にお渡しします。

[内容物]

- ・ポリエチレン手袋（4枚（2人分））
- ・ペーパータオル（6枚）
- ・0.05%次亜塩素酸ナトリウム消毒液（ペットボトル1本）
- ・ポリ袋（1枚）
- ・かご（1個）



①消毒を始める前に

- ・手首や指等に身に着けている金属製品をあらかじめ外してください。
- ・十分に換気を行ってください。
- ・「消毒の際の注意点」（ページ下部）をよく読んでいただき、十分に注意してご使用ください。

②消毒方法

- ・手袋を着用し、ペーパータオルを1枚取り出した後、消毒液で濡らし、破れない程度に絞ってください。（この作業は湯沸室の流しで行ってください）
- ・消毒液で濡らしたペーパータオルで下記の場所を中心に触れた箇所を消毒してください。

- | | |
|---------------|--------|
| ・電気やエアコンのスイッチ | ・ドアノブ |
| ・長テーブル | ・イス など |

- ・消毒がおわり、5分ほど経ちましたら、ペーパータオルを水道水で濡らして絞り、消毒箇所の水拭きをしてください。
- ・消毒・水拭き後、手袋・ペーパータオルはポリ袋に入れ、ポリ袋の口を縛り、ゴミ箱へ捨ててください。
- ・余った消毒液は流しに捨て、流しに消毒液が残らないよう流し全体を水で洗い流してください。その際、ペットボトル内にも消毒液が残らないよう水洗いしてください。
- ・鍵と清掃用具を市民生活課または警備室にご返却ください。

◎消毒の際の注意点 ※よくお読みください。

- ・消毒液を直接手で触れないように使用してください。
- ・消毒作業以外には使用しないでください。
- ・使用するときは十分な換気を行ってください。
- ・金属製品、繊維製品に付着すると、腐食や変色を起こす場合があります。
- ・漂白効果がありますので、衣類などの色落ちにご注意ください。
- ・目の中に入った場合は、直ちに水で洗い流してください。